

# 石井市長が再選 選挙前に政策集を発表 指導力や政策実行力に課題 2期目の市政も厳しくチェックします!



■一般質問をするかんの=2月25日

石井登志郎市長が3月の市長選挙で再選し、2期目の市政をスタートさせました。石井市長は市長選の前に公約となる「市民の声を集めて作った『西宮の未来』政策集100+3項目」を発表しました。私は石井市長について指導力や政策の実行力に課題があると考えており、2期目の石井市政も厳しくチェックしていきます。

政策集は①すべての子どもに行き届く子育て支援を拡充します! ②地域社会と共に、西宮の教育を支えます! ③健康を応援し、安心できる福祉のまちをつくりまします! ④まちのにぎわい・市民活動を支

## 西宮市議会議員

# かんの雅一 まさかず

え、産業基盤を強化します! ⑤市民のくらし、安全・安心のまちづくりを進めます! ⑥都市基盤整備を進め、西宮の魅力を引き上げます! ⑦環境学習都市として環境問題に正面から取り組みます! ⑧シチズンシップのまちづくり、市民と共に歩みます! ⑨行政経営改革を、さらに、前へ! の9つの大項目を掲げて、その下に計100の小項目を掲載。さらに、「+3 新型コロナウイルス対応」として3つの小項目を掲げています。

小項目は現職市長の公約ということもあって、全体として無難な内容です。また、「18歳までの医療費を所得制限なしで無償化し、子育て世帯を支えます」「学校トイレの洋式化を進めるなど、学校の環境改善を積極的に進めます」など市民から要望が多い内容もいくつか盛り込まれています。

その一方で、本市の厳しい財政状況を改善するために不可欠な行政経営改革については、「事業の統合・改善や市有財産の活用など、新たな課題の解決に向け、必要な財源をねん出する行政経営改革の取り組みを強化します」との抽象的な表現にとどまっております。行政経営改革への石井市長の意欲に疑問符が

石井市長は政策集の小項目で、令和3年度に新規事業化された名神湾岸連絡線について「国が進める名神湾岸連絡線建設工事については、影響を受ける市民・事業者の側に立ち影響を最小限に留める対応をします」としています。

### 名神湾岸で「市民の側に立つ」と約束

私は私が所属する「会派・ぜんしん」のメンバーとともに、2期目の石井市政を厳しくチェックし、必要に応じて具体的に提案します。

西宮市政報告

# かんの新聞

第28号

年4回発行

## ジャーナリストの視点で 調べる・伝える



## 元産経新聞記者 保守系無所属

つく内容になっています。

私は石井市長について指導力や政策の実行力を強めるべきだと考えます。1期目の市政運営では、各施策について明確な指示をしないまま、担当部局任せの状況が続きました。

例えば、新型コロナウイルス感染症の高齢者向けのワクチン接種予約が始まった令和3年5月、市のコールセンターや個別接種の医療機関に電話が殺到して混乱しました。石井市長は体制や広報に不十分な点があったことを認め、謝罪しました。職員の不祥事の再発防止についても迅速な取り組みが見られませんでした。

私は私が所属する「会派・ぜんしん」のメンバーとともに、2期目の石井市政を厳しくチェックし、必要に応じて具体的に提案します。

# 名神高速西宮に橋を耐震補強 来年12月に完成 — NEXCO西日本 —



■名神高速道路西宮インターチェンジ橋

西日本高速道路(NEXCO西日本)は名神高速道路西宮インターチェンジ橋の耐震補強工事について令和5年12月の完成を目指して進めています。32の橋脚について緩衝チェーンを取り付けるなどして橋げたの落下を防止する構造にします。

平成28年の熊本地震では、道路に架かる道路橋などの橋げたが落下し、復旧・復興のための緊急輸送ルートが寸断されるケースが発生しました。このため、国土交通省は全国の緊急輸送道路についての耐震補強を進めています。

今回の工事はこの対策の一環。橋げたと橋脚の接合部に緩衝チェーンやPC鋼材、固定化ブラケットを取り付けて補強します。また、橋げたと橋脚の間に設置されている部材についても強化したものに取替えます。

NEXCO西日本は今回の工事によって、大規模な地震でも落橋や倒壊を防止でき、被災後速やかに緊急車両の通行を確保できる構造にするとしています。



■耐震補強のための緩衝チェーン(ショーボンド建設提供)

NEXCO西日本によりまずと、工事に伴う大きな騒音や振動などは発生せず、工事のための通行止めはないとのこと。昼間の作業時間は午前8時から午後6時まで、夜間は午後10時から午前6時まで。土日と祝日は休み。

問い合わせ先は施工業者の飛鳥建設 名神園田耐震作業所  
06-6423-8747

## いつでも電話を!

新型コロナウイルスの感染拡大が私たちの暮らしを直撃しています。感染への不安や体調、仕事、経済的な問題、家庭の問題をはじめ、色々な事情でつらい思いをされている方が多いと思います。悩みを抱え込まないでください。いつでもいいので私に電話してください。一緒に考えましょう。私の連絡先はこのページの下に記載しています。メールやFAXでも結構です。

定期送付のご案内

西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビラ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想も書き添えいただければ、うれしいです。「かんの新聞」のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください。

●「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●ご連絡先電話番号●メールアドレス

はがき宛先

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101

メール・FAXでのお申し込みは本紙最下段に記載の宛先まで

## 言葉の解説

### スクール・サポート・スタッフとは何?

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、児童・生徒の健康管理などのため業務が増える教員をサポートするため、市が小中学校や高等学校、特別支援学校、義務教育学校に配置する会計年度任用職員のことです。週20時間を上限に、①登校時の検温②校内の消毒③配布物の印刷、仕分け④授業準備の補助—などを行います。市はスクール・サポート・スタッフの配置によって、教員が教材や授業の質の向上を図ったり、児童・生徒に向き合う時間を増やすことが期待できるとしています。



本名: 菅野 雅一(かんの・まさかず)

昭和33年(1958年)、神戸市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。昭和60年に産経新聞社に入社。平成27年1月に退社し、同年4月の市議選に初当選。31年4月の市議選で再選。保守系で政党無所属。「会派・ぜんしん」メンバー。南甲子園自治会副会長。NPO法人海浜の自然環境を守る会副理事長。社会福祉法人真砂ちどり保育園理事長。防災士。保育士。

次号は令和4年8月の発行予定です

## かんの雅一事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101

TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530

《MAIL》info@kannomasakazu.com

●詳しい政策はホームページへ [www.kannomasakazu.com](http://www.kannomasakazu.com)

かんの雅一

検索



■西部工場=浜松原町

### 西部工場を解体へ

車庫棟や煙突を令和5年度に  
将来的には全施設が対象

市はごみ焼却施設として平成24年度まで稼働した西部工場(浜松原町)の解体を始めます。車庫棟や煙突などについて令和4年度に実施設計を行い、5年度に解体します。将来的には焼却炉が入っている工場棟を含めた全施設を解体するとしています。

西部工場は大正元年、六湛寺川と東川の中州に設置され、設備を更新しながら稼働を続けました。老朽化などのため、平成24年度に東部総合

処理センター(鳴尾浜)の稼働開始に伴って閉鎖しました。

閉鎖後は解体の総事業費が巨額に上るとみられることや施設の再活用方法を検討するため、解体しないままになっています。

ごみ収集車などを止めていた車庫棟は臨港線に近い3階建ての鉄骨造の建物。旧耐震基準で建設されたため、耐震性に問題があることや老朽化が進行していることから、安全上の観点などを重視して先行的に

解体することにしました。

煙突は新耐震基準で建設されたものですが、高さ約55メートルと高く、万が一にも倒壊すれば、影響が大きいため、車庫棟とともに解体します。車庫棟横のランプウエーも同時に解体することを検討しています。これらの施設の解体費用は約3億2千万円。

市は財政状況を見ながら、工場棟を含めた他の施設の解体についても進めるとしています。

かんの  
コラム  
28

## 今津浜が消滅へ 兵庫県が統合排水機場などを整備



■ハマエンドウ



■今津灯台(右)と今津浜

兵庫県は今津灯台の西側にある砂浜海岸の今津浜(延長約100メートル)とその前の水面6,283平方メートルを使って、新川と東川の河川水を海に排出する統合排水機場や流入水路などを整備する工事を進めます。

新しい新川水門が今年初め、完成したことに続く工事です。8月ごろに護岸工事に着手し、今津浜を掘削して流入水路を造るとともに、水面を埋め立てて排水機場用地を造成します。令和8年度中に全施設を完成させる予定。これにより今津浜が消滅します。

この事業は県による南海トラフ巨大地震を想定した津波防災インフラ整備計画と、台風被害を受けて策定した高潮10箇年計画の一環。

県はこの事業によって発生頻度が極めて低いものの、甚大な被害をもたらすマグニチュード9クラスの地震による津波が発生しても、今津や南甲子園の住宅地域の浸水の深さを避難行動がとれる30センチ以下に低減できるとしています。

今津浜は地域の貴重な親水空間であり、多くの市民が憩いの場として自然観察や清掃活動などを行っています。

県は今津浜について詳細な資料が残っておらず、その変遷は不明としています。西宮市貝類館顧問の山西良平さんや西宮自然保護協会の大谷洋子さんらが令和2年、今津浜の変遷や動植物について調査しました。

その結果、現在の今津浜は平成8年に砂が人為的に投入されて誕生したものではないかと思われるとしています。また、ハマエンドウやハマヒルガオなどの貴重な海浜植物が自生していることもわかりました。

西宮自然保護協会や海浜の自然環境を守る会などの関係者は今津浜のハマエンドウを御前浜や甲子園浜に移植する作業を進めています。

県は令和4年度中に今津灯台について所有する大関と協議のうえ、新川水門の外側にある新川の対岸の県有地に移転し、周囲に芝生やマツを植え、公園のように整備する方針。

真砂中の仮設校舎は平成22年度に運動場に設置。2階建てで1階と2階にそれぞれ2教室があります。2階の2教室を1年生の普通教室として利用し、1階の2教室は学習室などとして利用しています。

真砂中の仮設校舎の解消のめどは立っていません。毎年、真砂中に入学する1年生5



■市立真砂中学校の仮設校舎=今津真砂町

《教室不足対策における仮設校舎設置状況》(令和4年1月現在)

小学校名	設置年度	教室数	普通教室として使用	設置場所
甲東 小学校	平成16年度	4	2	運動場
上ケ原 小学校	①平成18年度	4	2	校舎敷地
	②平成21年度	2	2	校舎敷地
瓦林 小学校	①平成19年度	4	2	運動場
	②平成21年度	3	2	運動場
広田 小学校	①平成19年度	4	0	校舎敷地
	②平成21年度	2	0	校舎敷地
段上西 小学校	平成19年度	4	4	校舎敷地
甲陽園 小学校	平成19年度	2	1	校舎敷地
樋ノ口 小学校	平成21年度	2	0	運動場
7小学校	-	31	15	-

中学校名	設置年度	教室数	普通教室として使用	設置場所
塩瀬 中学校	平成19年度	4	2	校舎敷地
甲陵 中学校	平成21年度	4	0	校舎敷地
真砂 中学校	平成22年度	4	2	運動場
学文 中学校	平成23年度	4	2	校舎敷地
浜脇 中学校	平成24年度	4	2	運動場
上ケ原 中学校	平成29年度	2	1	校舎敷地
上甲子園 中学校	令和元年度	4	2	校舎敷地
7中学校	-	26	11	-

(西宮市提供)

### かんのが 一般質問

## 仮設校舎の常態化を解消せよ 劣悪な教育環境の改善を!

私は2月25日、市議会3月定例会で一般質問をしました。テーマは①仮設校舎の常態化について②名神湾岸連絡線について③の2項目。市幹部が答弁しました。

仮設校舎の常態化については、真砂中学校の生徒と保護者から「毎年、1年生5クラスのうち2クラスが仮設校舎で授業を受けており、この仮設校舎の環境が劣悪なので改善してほしい」との相談を受けたことをきっかけで取り上げました。

真砂中の生徒たちは「仮設校舎は古いうえ、断熱性が乏しく、空調設備がほとんど機能しない。夏は暑く、冬は寒い」「床が薄く、1階の音がうるさくて、授業中は先生の声が聞こえないことがある」「壁が薄くてもたれると、しなってしまう」などと訴えています。

クラスのうち2クラスの生徒は運悪く、1年間にわたって仮設校舎で勉強しなければならぬ状況が続く可能性が高いと思われます。

本市では、教室不足対策として運動場などに軽量鉄骨造の仮設校舎を設置している市立小学校が小学校で7校、中学校で7校の計14校あります。このうち11校で仮設校舎を普通教室として利用しています。市は予算的な制約もあり、「少子化によって将来的にクラス数の減少が見込まれる」として、仮設校舎の解消のための本校舎の増改築に消極的です。

私は「子供たちをこのような教育環境で放置することは許されぬ。市は全力を挙げて仮設校舎の解消に向けて対策を講じるべきだ」と強く

調しました。

そのうえで、①臨時的に使用される仮設校舎が常態化され、解消のめどがない現状について市はどのような認識なのか②学校の本校舎にある少人数学習教室や多目的教室などを仮設校舎で授業を受ける子供たちの普通教室として活用すべきだが、市の考えは③神戸市が導入を進めている長期対応型の仮設校舎の導入を検討すべきではないかと質問しました。

市は「現在の仮設校舎は軽量鉄骨造であり、鉄筋コンクリート造の校舎と比較すると、断熱性や遮音性が劣っているため、補修等に努めているが、対応しきれない課題があることは認識している」と答弁。少人数学習教室や多目的教室などを普通教室として活用することや長期対応型の仮設校舎の導入について検討する考えを示しました。

### 長期対応型の仮設校舎とは

神戸市などが導入を進めている断熱性や遮音性などが改善された仮設校舎。従来の仮設校舎と同じプレハブ工法ですが、建築資材などのグレードを高め、外観も内装も本校舎とほぼ変わらず、長期使用に対応。快適な教育環境が実現し、児童・生徒や保護者の評判も良いとのこと。神戸市はこれまでに市立小中学校31校に設置しています。

神戸市東灘区の市立本山第一小学校の長期対応型の仮設校舎には特別教室やトイレ、エレベーターなどがあります。施工期間は7か月。事業費は5億円で、9年間のリース契約を結び、契約満了後はリース会社から無償で譲渡を受けます。つまり、校舎増改築工事のように財政負担が一時的に過大になることを避けられます。



■神戸市立本山第一小学校の長期対応型仮設校舎=神戸市東灘区(神戸市提供)